

ゲーム開発 九大と

九州大学(梶山千里総長)は二十七日、福岡・熊本両県のゲームソフトウェアメーカー七社でつくる任意組織「GFF」(会長・日野晃博レベルファイブ社長)と新たな学問分野の創出やソフト開発をめざして、連携協定を締結したと発表した。行政

福岡・熊本のソフトウェア7社

とも協力しながら、福岡県を出発点として九州にゲーム産業を集積させていく。九州に広い学問分野を活用すること、これまでにならぬゲーム産業を集積させていく。九州に広い学問分野を活用すること、これまでにならぬゲーム産業を集積させていく。

少子化などの影響でゲーム業界の売上げが前年割れの中、GFF加盟七社は、映像の高度化

などの基礎技術は連携し魅力的でこれまでにないて大学と開発に取り組む、具体的なソフトについて各社が独自に連携していく。将来的には「大共同開発」ソフトも販売される可能性がある。日野会長は「ロボットをフットを開発できると判使ったり医療現場を舞台とするゲームをつくる場合など、大学の総合力は

連携協定 締結

「ビジネス拠点に」

GFFは「ゲーム開発会社の友好協定」などの意味がある。